

発行日 令和6年 7月 1日

環境経営レポート

レポートの対象期間: 令和5年6月1日 ~ 令和6年5月31日



吉井建設株式会社

ご挨拶

吉井建設株式会社は、昭和22年の創業時より、これまでに培ってきた技術と信頼を基盤に総合建設業として、地域住民及び地元企業の皆様に支えられて歩み続けてまいりました。

当社は、地域に密着したインフラ整備や災害復旧工事をはじめ、主に土木工事を生業とし、官民両面から大きな評価を得ています。

土木分野は英知の融和であり、社会資本と環境は後世に引き継ぐ大切な資産であると考えています。

今後も、環境保全・省エネ等のニーズや社会の変化に応え、創業時の志を忘れずに、積み上げてきた技術のさらなる向上を図り、地域社会へ貢献します。

令和5年7月1日
吉井建設株式会社
取締役社長 春山桂樹

目次

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境経営計画
4. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容・組織図
5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取り組み結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

1 事業所及び代表者名

吉井建設株式会社

代表者 吉井 晋

2 所在地

本社

群馬県高崎市吉井町小串34番地

資材倉庫

群馬県高崎市吉井町馬庭1684-1番地

3 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 取締役社長 春山 桂樹

環境管理責任者 吉井 晋

事務局・担当者 湯井 潔・黒澤 美尚

4 対象範囲

本社・資材倉庫

5 事業内容

総合建設業(土木工事・建築工事)

6 事業規模

資本金 5千万円

創業 昭和22年

設立 昭和41年

活動規模	2021年度	2022年度	2023年度
工事件数	156件	120件	152件
売上高	427,000,000	495,000,000	447,000,000
従業員数	20人	21	27
延べ床面積	389.03㎡	389.03㎡	389.03㎡
資材倉庫面積	2,550㎡	2,550㎡	2,550㎡

7 建設業許可

許可番号 群馬県知事許可 (特-3)第000072号

許可の有効期限 令和3年8月6日～令和8年8月5日

許可の工種 土木 とび・土工コンクリート 石工事
鋼構造物 舗装 しゅんせつ 水道施設

産業廃棄物収集運搬業の許可

許可番号 群馬県許可 第0100001947号

許可の有効期限 令和元年5月15日～令和6年5月14日

事業の区分 収集・運搬(積み替え保管を除く)

産業廃棄物の種類 廃プラスチック類 木くず ゴムくず
金属くず ガラスくず・Coくず及び陶磁器くず
がれき類(以上6種類) * 自社分の運搬のみ

2. 環境経営方針

〔基本理念〕

吉井建設株式会社は、社会資本と環境は後世に引き継ぐ大切な資産であるという企業方針のもと、積極的に環境問題を認識し事業活動の優先課題と捉え、自主的に環境保全に取り組み、循環型の社会の構築に努めます。

〔基本方針〕

吉井建設株式会社は、社会インフラとしての土木・建築構造物、災害等緊急時の安心・安全の為に復旧工事等の提供を通じて社会に貢献することを目指します。

<環境への取組の重点分野>

1. 継続的な環境負荷の低減、CO₂の排出量（ガソリン・電力・ガス等）の削減に努めます。
2. 適正な利用により、水使用量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生の抑制に努め、リサイクル率の向上に努めます。
4. 環境に配慮した工事に努めます。
5. 環境に関する関連法規等を遵守します。
6. 環境方針を全従業員に周知し、社外にも公開し、適切な情報提供ができるよう努めます。
7. 環境に関する情報の社内外への公表及び地域社会とのコミュニケーションの実施

令和4年 10月 1日
吉井建設株式会社
取締役社長 春山 桂樹

3. 環境経営目標・環境経営計画

レポートの対象期間 : ##### ~ 令和6年5月31日

環境経営目標(環境経営レポート対象期間)				環境経営計画(環境経営レポート対象期間)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素 排出量 の削減	2022年度 (117.46kg- CO2/100万円)	2022年度に対して 1%減	○		①空調温度適正化・表示
				○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				○	○	③エアコン清掃の実施
				○	○	④エコドライブ推進
				○	○	⑤社用車の点検・整備
					○	⑥省エネ型建設機械の利用
				○	○	⑦アイドリングストップの徹底
				○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円 当り廃棄物排出 量の削減	2022年度 1733.03kg/100万 円)	2022年度に対して 1%減	○	○	①分別ルールの徹底
				○	○	②廃棄物置場の整備
				○		③廃棄物排出量の集計
				○	○	④裏紙使用ルールの徹底
					○	建設リサイクルの推進
3	売り上げ 100万円 当たりの 水使用 量の削減	2022年度 (0.30m³/100万円)	2022年度に対して 1%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
				○	○	②節水表示
				○		③増量ノズルへの交換
				○		④トイレの節水
				○	○	節水活動の徹底
4	本業に 関する 目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)				
		上州漁業組合と協議の上、河川工事にて、鎭川の生物への配慮として、工期短縮・排水施設の調整を行った。				
		②環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)				
		施工主と協議の上、離接工事現場と工期の短縮を考察し、環境負荷を抑えるように努めた。				
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)				
		再生資源工場への処理の徹底を行い、再資源化の促進を図った。				

* 購入電力の排出係数は、0.441kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー(株)】を使用しています。

* 化学物質の取り扱いはありません。

4. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節水表示



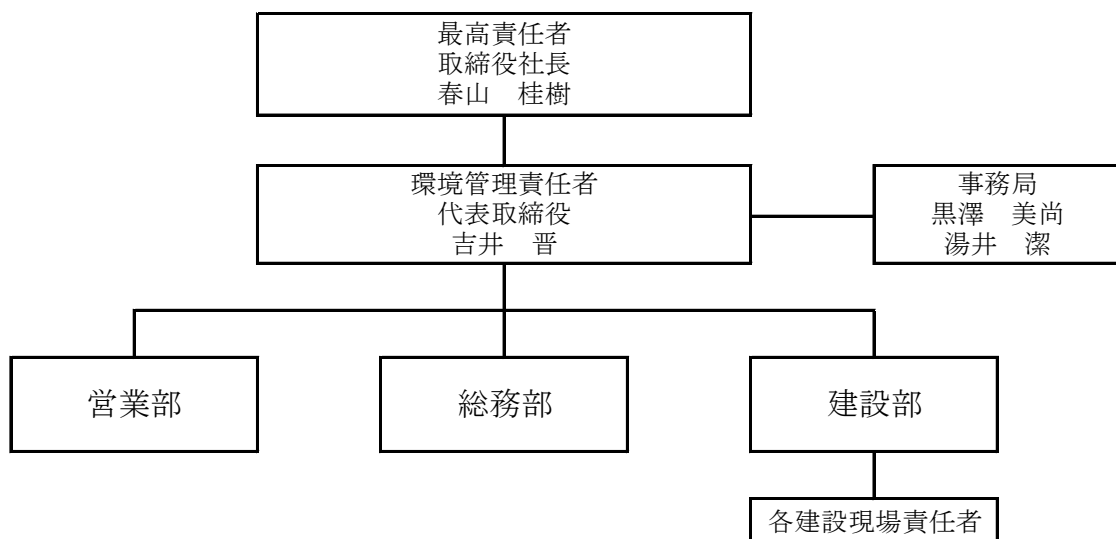
エコドライブ・アイドリングストップ・重機の省エネ



建設現場での取組内容



エコアクション21取組の実施体制



5-1. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標							環境経営計画	
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素 排出量 の削減	2022年 度 117.46(kg- CO2/10 0万円)	2022年 度に対し て1%減	116.29(kg- CO2/10 0万円)	170.47(kg- CO2/10 0万円)	未達成	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③エアコン清掃の実施	◎
							④エコドライブ推進	◎
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥省エネ型建設機械の利用	△
							⑦アイドリングストップの徹底	○
							⑧電力、ガソリン量の集計	◎
2	売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出 量の削 減	2022年 度 1733.03- CO2(kg /100万 円)	2022年 度に対し て1%減	1715.70 (kg/100 万円)	820.94 (kg/100 万円)	達成	①分別ルールの徹底	◎
							②廃棄物置場の整備	○
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	◎
							建設リサイクルの推進	△
3	売り上げ 100万円 当たりの 水使用 量の削 減	2022年 度 (0.30㎡ /100万 円)	2022年 度に対し て1%減	(0.29㎡ /100万 円)	(0.22㎡ /100万 円)	達成	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	○
							②節水表示	◎
							③増量ノズルへの交換	△
							④トイレの節水	○
							節水活動の徹底	○
4	本業に 関する 目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						△
		上州漁業組合と協議の上、河川工事にて、鎭川の生物への配慮として、工期短縮・排水施設の調整を行った。						
		②環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						△
		施工主と協議の上、離接工事現場と工期の短縮を考察し、環境負荷を抑えるように努めた。						
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						◎
		再生資源工場への処理の徹底を行い、再資源化の促進を図った。						

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2022年	2023年（環境活動レポート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO ₂ ）	58, 143. 36	76, 200. 67
②廃棄物排出量(kg)	740, 003. 53	366, 960. 00
③水資源投入量（m ³ ）	126. 00	97. 00

5-2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

レポートの対象期間： 令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	本社	建設 現場	実施事項
1	売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の削減	2023年度 170.47(kg- CO2/100 万円)	2023年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 2%減	2023年度 に対して 3%減	○		①空調温度適正化・表示
						○	○	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						○	○	③エアコン清掃の実施
						○	○	④エコドライブ推進
						○	○	⑤社用車の点検・整備
							○	⑥省エネ型建設機械の利用
							○	⑦アイドリングストップの徹底
						○		⑧電力、ガソリン量の集計
2	売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の削 減	2023年度 1494.96- CO2(kg /100万円)	2023年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 2%減	2023年度 に対して 3%減	○	○	①分別ルールの徹底
						○	○	②廃棄物置場の整備
						○		③廃棄物排出量の集計
						○	○	④裏紙使用ルールの徹底
							○	建設リサイクルの推進
3	売り上げ 100万円当 たりの水使 用量の削 減	2023年度 (0.22m ³ /100万円)	2023年度 に対して 1%減	2023年度 に対して 2%減	2023年度 に対して 3%減	○		①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						○	○	②節水表示
						○	○	③増量ノズルへの交換
						○		④トイレの節水
							○	節水活動の徹底
4	本業に関 する目標	①生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						
		発注者様と協議の上、橋脚築造工事にて、鎚川の生物への配慮として、工法変更を行った。種子の移動厳禁処置を行った。						
		②環境負荷の少ない工法の提案及び採用(工法の提案及び採用件数を把握する)						
		発注者様と協議の上、騒音測定器・振動測定器を使用し、環境負荷を抑えるように努めた。						
		③廃棄物再資源化率の向上(再資源化率を把握する)						
		再生資源工場への処理の徹底を行い、再資源化の促進を図った。						

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

エコアクション21運用を始めて、決算1期分となり、1年間のデータができた。当初の中長期目標の達成は難しいこともあるが、前年度同様、次年度も進めることとする。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進めることとする。

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
オフロード法	重機の基準適合表示の確認	遵法
フロン排出規制法	エアコン室外機が第一種特定製品か確認	遵法
騒音規制法	特定建設作業の届出	遵法
振動規制法	特定建設作業の届出	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告、産業廃棄物処理計画実施状況報告書	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

2022年12月28日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

令和4年10月に環境方針を掲げ、エコアクション21への取り組みを開始し、令和5年7月に認定されました。その後1年たち、環境負荷の低減を目指しておりますが、なかなか思う通りにはならないですが、今後も、環境委員会を中心に環境負荷の低減に努め、社員の環境に対する意識の向上に努めたいと思っています。建設業界は、受注工事量により環境負荷が左右されますが、削減目標を達成できるよう環境活動を推進していきます。環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制については見直す必要はない。